

## 障害者に人権保障って誰がするの？

障害者に人権はありますか？こう問われたとき、多くの人は「はい。」と答えるのではないでしょうか。では、障害者の人権を守るために、あなたは何かできますか？

例えば、重度の知的障害で先天性の聾者の方がいるとします。彼は独自のジェスチャーのみでしかコミュニケーションをとれません。私たちに比べできないことも多く、他人との適切な距離感がわからず相手を不快にさせてしまうこともあります。しかし、人の役に立つことやおしゃべりは好きなので、外に出かけて、色々な人と関わりたがります。

彼のしたいことを実行することは人権で保障されています。その人権を守るために、私たちが何かしようとする、彼独自のコミュニケーションを知り、彼の実態を知り、何ができるかを見極め、他人と適切な距離感を保てるように常に注意をし…

これは一つの例ですが、これをもっと多くの障害者になんてできない！と思うのではないのでしょうか。しかし、何もできないと落ち込むことはありません。彼の人権を保障するには、能動的にかかわる誰かだけでなく、他人として関わる不特定多数の人も必要です。

積極的に何かできなくても、その人を受け入れる不特定多数にはなれそうではないですか？まずは、こんな人もいるのだと知ることから。そして、彼らの人権を守るために彼らを受け入れる心を持つことから。

私は、障害者だけでなく全てのひととの共生って、こんなことをみんなが当たり前にする社会だと思います。障害者に人権を守るために、今日からあなたは何をしますか？